



# 日本統計学会 会報 2026.01.31 No. 206

発行—— 一般社団法人 日本統計学会  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5F  
公益財団法人 統計情報研究開発センター内 日本統計学会事務局  
Tel & Fax : 03-3234-7738  
編集責任—青嶋 誠(理事長) / 坂田 綾香(庶務理事)  
朝日 弓未(広報理事) / 田島 友祐(広報委員)  
趙 宇(広報委員)  
振替口座—00110-3-743886  
銀行口座—みずほ銀行九段支店普通 1466879番

JAPAN STATISTICAL SOCIETY NEWS

## 目次

- |                                                                  |                                |
|------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 巻頭随筆：JJSD 第二期を振り返って<br>増田弘毅…………… 1                            | 4. 理事会・委員会報告（2025年10月18日開催）… 6 |
| 2. 国際ベイズ分析学会世界大会 (ISBA World Meeting)<br>のご案内……各務和彦・高橋 慎・中島上智… 2 | 5. 新刊紹介…………… 8                 |
| 3. 2025年1～6月統計検定 CBT 方式試験の成績優<br>秀者……………狩野 裕・青嶋 誠… 4             | 6. 会員活動紹介…………… 9               |
|                                                                  | 7. 学会事務局から…………… 9              |
|                                                                  | 8. 投稿のお願い……………10               |

## 1. JJSD 第二期を振り返って

増田 弘毅（東京大学）

JJSD (Japanese Journal of Statistics and Data Science) は統計関連学会連合の公式学術誌です。私は JJSD 第二期（2022年10月～2025年9月）の編集長を務めました。まずはその三年間にあった良いニュースをざっと振り返りたいと思います。2023年6月、JJSDは無事に Impact Factor (IF) を獲得できました。初代編集長の青嶋先生を初めとする第一期編集委員ならびに創刊に携わった方々のご尽力による賜物です。私がハンドリングに勤しんでいる傍ら、気づいたら IF が付与されていたわけです。それ以降は投稿数が安定して伸び、2025年5月に Springer から打診を受けて、年間発刊数の増加というアップグレードへ至りました。また JJSD の SJR (SCImago journal ranking) は2023年に Q4から Q3へ、さらにその翌年に Q2へ順調にレベルアップしました。このように複数の客観的事実をもって成長を遂げられたのは大変ありがたいことです。

その一方で JJSD は IF を偏重しないスタンスで DORA (The Declaration on Research Assessment) に

署名しており、ここにまだ若い雑誌としてのバランスの良さが求められます。我々業界の常として「IF 付与→低クオリティの投稿が増加→採択率低下」という現象は少なからず起こるわけで、手放して喜べるわけではありません。投稿数増加に安易に乗じず、ファースト・スクリーニングでは自分のものさしを大事にしてきたつもりではありますが、果たして然るべき選択をどれほどできたか、自己評価はむずかしいところです。

常に念頭に置いていたのは、ハンドリングの速さは雑誌の重要なファクターだということでした。この点、若い雑誌には特に強く求められます。投稿数の伸びにともない、編集長の手元で止めてはマズいという意識は強まりました。拙速上等とまでは言いませんが、後でまとめてではなく、なるべくリアルタイムで滞りなく事を進めるよう務めたつもりです。振り返ってみると、地味ながらこの意識・行動で雑誌の成長へ貢献できたのかもしれない。編集ルーティンに特別な策を講じるでもなく先述の良いニュースを達成できたことは

幸運でした。

第二期を通じ、ハンドリング自体はさておいても、学術誌の編集長を務めることはとても大変な役目だと実感しました。とくにJJSDのようにまだ若い雑誌の編集長におかれては、きっと水面下の努力をしているに違いないと想像する次第です。雑誌のカラーは編集長依存で少なからず変動するのですが、JJSDは今後どのように展開されて行くべきかという大きな問いについて、私は具体的な施策をもって先導することはできませんでした。個人的には6学会を束ねる連合の雑誌として受け皿の大きさは保持していくべきだと思っており、そのためにはやはり構成学会が相互協力し、それぞれの強みを活かしてJJSDを盛り立てて行くかたちがベストと考えます。予てから掲げられているスローガンは、理論・応用・計算を軸に統計学・データ科学の幅広い内容を出版対象とする事です。そこから先へ具体的にどう踏み込んで行くのが大事であって、同時に大きな考えどころとなります。試行錯誤を前提にあれこれ企画立案し、実行して行くべきなのでしょう。別件として、編集長の立場でもっと広報・宣伝活動に意識を向けるべきであったと反省しています。JJSD編集長として至らぬ点は多々ありましたが、ご批判は甘んじてお受けする所存です。

さて、第三期中にJJSDは創刊十周年を迎えま

す。創刊後の第一期、雑誌として安定するまでの努力は並々ならぬものであったことは想像に難しくありません。第二期編集長として青嶋初代編集長からバトンを受け取ることは重責でしたが、自分にとって良い経験の機会だと捉えてお引き受けしました。第二期での成長は一重にCoordinating editor (CE) および Associate editor (AE) 各位の的確なハンドリング、ならびにご協力いただいた査読者の方々の支援によって実現したものです。とくに特集のCEをお引き受けいただいた先生方には招待論文・一般論文のハンドリングをはじめとして多大なご尽力をいただきました。ちなみに第二期はじめのCE(日本人)は、男性12名・女性2名、AEは男性68名・女性25名(女性比率は26.9%)、そのうち外国人AEは30名(32.2%)、うち女性11名でした。雑誌の編集はボランティアで成り立っています。第二期を通じてお世話になった全ての皆様にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。私は投稿の受付窓口およびタイムキーパー役として努力しました。

すでに丸山祐造新編集長への引き継ぎは完了しており、それをもって私はJJSD編集長としての実質的な任務を終えました。2026年よりJJSDは年4回の発刊となり、丸山新編集長の采配のもと今後のさらなる発展が待たれます。第三期JJSDの益々の発展を祈願しつつ、小稿を閉じます。

## 2. 国際ベイズ分析学会世界大会 (ISBA World Meeting) のご案内

実行委員長 各務 和彦 (名古屋市立大学)  
事務局長 高橋 慎 (法政大学)  
広報担当 中島 上智 (一橋大学)

International Society for Bayesian Analysis (ISBA, 国際ベイズ分析学会) は、化学・産業・行政など各方面での理論的課題および実務的課題に有用であるベイズ統計学の理論的研究とその応用を推進するために設立された国際学会です。1993年に第1回目の世界大会が米国で開催されて以来、定期的にISBA世界大会 (ISBA World Meeting) が世

界各国で開催されてきました。2012年6月には、アジアで初めてのISBA世界大会が京都で開催されました。

このISBA世界大会が、来年2026年に再び、日本で開催されることになり、今回は愛知県名古屋市での開催を予定しています。詳細は、2026年ISBA世界大会のウェブサイト (<https://isba2026>).

github.io/)に記載されていますが、概要は下記のとおりです。

この大会は日本統計学会をはじめとして、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本分類学会の後援を得ており、この6学会の会員であれば、ISBAの会員でなくてもISBAの会員と同じ割引価格で参加することができますので、奮ってご参加ください。

#### 【大会名称】

国際ベイズ分析学会世界大会2026 (ISBA World Meeting 2026)

- 2026年世界大会ウェブサイト：

<https://isba2026.github.io/>

- ISBA 学会ウェブサイト：

<https://bayesian.org/>

#### 【開催日】

2026年6月28日(日)～7月3日(金)

#### 【場所】

ウィンクあいち

<https://www.winc-aichi.jp/>

#### 【スケジュール】

- 早期参加登録締切：2026年4月30日
- 通常参加登録締切：2026年5月31日  
(2026年6月1日以降も遅延参加登録料金となりますが、参加登録可能です。)

#### 【共催】

統計数理研究所

#### 【後援】

応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会

#### 【参加費 (ISBA 会員・後援学会会員の場合)】

- 早期参加登録：550 USD (学生は275 USD)
- 通常参加登録：650 USD (学生は375 USD)  
(チュートリアル・セッション参加費、パンケット代は別料金です。)

#### 【開催趣旨】

2012年、故・和合肇教授を中心としてアジアで初めてのISBA世界大会が京都で行われました。この画期的な大会は参加者の評判も良く、多くの

日本人研究者の方々にも参加して頂き、日本およびアジアにおけるベイズ理論の普及に繋がりました。

京都での世界大会の開催が1つの契機となっており、近年のアジア地域におけるベイズ統計学者の急増を受け、2016年に国際ベイズ分析学会に東アジア支部が設立されました。それ以降、毎年、大学院生を含む若手研究者に対し、ベイズ統計の国際的な研究水準を紹介し、その分析手法の有効性について広く周知することを目的の1つとして、ISBA 東アジア大会が開催されています。日本においては、2019年に神戸大学で東アジア大会が開催されました。

近年、わが国においてもベイズ理論に関する認知度は急速に高まりつつあります。しかしながら、この分野での国際会議は日本で開催されたのは2012年の京都での世界大会と2019年の神戸での東アジア大会のみです。そこで本会議では、2026年ISBA世界大会をわが国において開催・運営することによって、当該研究分野の研究交流を促すと同時に、日本とアジアにおけるベイズ理論の研究の底上げを目指すことを目的としています。

また、本国際会議の開催を通じて、大学院生を含む若手研究者に対し、

(1)ベイズ理論の国際的な研究水準を紹介し、その分析手法の有効性について広く周知する

(2)第一線で活躍する研究者との研究交流や共同研究の機会を提供する

ことによって、若手研究者の育成を促進することも本会議の目的の1つとしています。若手研究者に対しては研究発表の場を多く提供することを予定しており、国外で活躍する研究者との議論や意見交換を行うことは大いなる刺激となり、今後の日本と東アジアにおけるベイズ理論の研究の発展に大きく寄与することが期待されます。

#### 【セッションの種類と内容 (講演者等)】

##### 1. チュートリアル・セッション (Foundational Lectures)

- David Dunson (Duke University)
- Hal Stern (University of California, Irvine)

- Sylvia Richardson (University of Oslo & University of Cambridge)
- Siddhartha Chib (Washington University in St. Louis)

## 2. 招待講演 (Keynote Lectures)

- Fumiyasu Komaki (University of Tokyo)
- Botond Szabo (Bocconi University)
- Barbara Engelhardt (Stanford University)
- Emtiyaz Khan (RIKEN Center for AI Project)

## 3. 手研究者招待講演 (Susie Bayarri Lecture)

- Stéphanie van der Pas (Vrije Universiteit Amsterdam)
- Daniele Durante (Bocconi University)

## 4. 特別招待講演 (Bruno de Finetti Lecture)

- Peter Mueller (University of Texas at Austin)

## 5. 講演セッション

招待セッション (Invited Sessions), 特別セッション (Special Topic Sessions), ポスターセッション (Posters) があり, 上記の2026年世界大会ウェブサイト に随時, 掲載します.

## 6. サテライト・ミーティング

2026年7月4日~7日に統計数理研究所にて開催予定です.

- ウェブサイト

<https://kkamatani.github.io/2026-isba-satellite/>

# 3. 2025年1~6月統計検定 CBT 方式試験の成績優秀者

狩野 裕 (日本統計学会会長)

青嶋 誠 (日本統計学会理事長)

### 準1級

**最優秀成績賞 (S)**: 伊藤大翔, 井上聖士, 永瀬貴規, 園尾真由, 横谷暢斗, 岡崎力也, 荻汐世, 蝦名拓海, 角田伊織, 葛原潤, 岩城裕之介, 岩瀬直人, 戸張高友, 溝口雄斗, 高橋佑, 高山諒介, 高部真己人, 黒木啓志, 作原友樹, 山内俊敬, 小原悠, 小山内洋平, 小川翔大, 森山伊織, 水野貴仁, 正源勇朔, 西村勇亮, 川崎夏稀, 銭韜, 増川健人, 村田翔太郎, 大山豪士, 谷本雄輝, 竹内理人, 中橋優斗, 田中惇惟人, 田邊光弘, 渡邊信吾, 藤原可統, 藤原勇人, 藤田悠輔, 畑中良, 尾崎大翔, 堀江祥汰, 役山真柊, 鈴木滉次郎, 廣谷圭亮, 櫻井幸大, 澁谷巧, 澤口蒼, 柳澤陸都

**優秀成績賞 (A)**: WUBINGQUAN, 阿部克哉, 安波暢道, 宇野大介, 遠藤清人, 奥村将司, 横井友哉, 柿沼大翔, 角田明博, 笠原宏太郎, 蒲池友哉, 岸田大陸, 岩見弦, 岩崎浩太郎, 亀田俊哉, 菊池寛, 吉川綾人, 吉田碧海, 宮地英治, 居郷孝泰, 近藤慎吾, 月足元希, 甲斐光, 高橋治輝, 高橋李功, 今井崇公, 佐々木響子, 坂本颯真, 三角周平, 三木拓実, 三輪拓夢, 山口澄也, 山田総一

郎, 四方大樹, 松本弘達, 松本侑真, 上園波輝, 上藪冬樹, 上村昌寛, 榛葉智之, 水田翔一, 西川崇, 石川洋輔, 石澤樹, 仙田佳誠, 川井悠正, 前川和也, 倉本将伍, 倉林一樹, 太田暁率, 大下健, 大芝大, 大谷周太郎, 大畑就義, 池谷怜, 池邊蒼太, 竹本淳, 中村政美, 中村耀太, 中本将司, 長澤稔, 辻貴也, 田中智宏, 渡部綾, 東芳隆, 藤田和也, 内田健太, 日塔雄大, 白板巧幹, 武田朋也, 米倉良一, 片岡暁人, 芳賀冬唯, 木村長幸, 野上幸久, 有友健人, 由利瞬大, 澤田拓男, 高野聖矢

### 2級

**最優秀成績賞 (S)**: セガール詩文, 柿野諒, 近藤彪生, 五百木来樹, 後藤巴哉, 荒上宏斗, 山本健蔵, 松下亘騎, 須田大雄, 清水俊来, 西垣豪人, 西野航太, 大塚真吾, 谷澤篤志, 渡辺香音, 土橋一耀, 内田千佳弘, 納田智仁, 梅村友章, 尾崎大翔, 堀江悠斗, 柳田謙太郎, 團邦啓

**優秀成績賞 (A)**: 阿部拓実, 阿部哲也, 安西優輝, 伊熊大貴, 羽山智志, 奥田宗平, 奥野陽, 岡村修志, 岡本欣久, 粥川隆信, 関根美絃, 丸山浩太郎,

吉田遙人, 宮元颯太, 金子佳右, 後藤結衣, 後藤洋, 降?直二郎, 高橋慶, 高根悠史, 高部真己人, 佐藤健介, 砂川優樹, 坂口大輝, 作間悠生, 山宮拓馬, 山田真樹史, 市川貴大, 児玉匡, 手島和裕, 小田和哉, 小野田竜也, 松井直子, 松澤匠, 信藤頼智, 森田剛熙, 杉浦悟, 杉本健, 杉本桃梨, 正木幸輔, 清尾康志, 生貝拓朗, 西原悠宇, 西川啓将, 西川莊介, 川又聖史, 多湖光佑, 大西孝征, 竹中美奈実, 中村耀太, 中島匠海, 中澤隼誠, 長屋智大, 長瀬悠介, 塚本圭祐, 田中良治, 渡邊毅, 渡邊勇熙, 藤川翔大, 藤野暉良人, 浜川一郎, 富松翔太, 武井友花, 福手朝陽, 平松征洋, 平川明莉, 米良孔希, 片田裕輝, 保川一步, 牧野孝之, 矢向俊貴, 矢澤和樹, 林原有志, 鈴木伊玖磨, 詫間陽生, 濱中悠輔

### 3級

**最優秀成績賞 (S):**阿形和樹, 伊藤賢太, 横田怜, 宮浦周平, 金坂青葉, 細見祥大, 山田貴寛, 山田真弘, 山迫光起, 児玉明, 寺田直樹, 寺田稜, 首藤啓次, 小山博司, 小松陽平, 小嶋康義, 小林聖弥, 松生周一郎, 松村俊彦, 松澤賢吾, 森山巧巳, 水野紘希, 清水健吾, 西田大吾, 青嶋みさき, 赤嶺太河, 浅山和宣, 相島拓実, 村垣萌菜美, 村山悠太, 大村歩, 大平杏菜, 竹井惟人, 竹内晴哉, 中島有子, 長友宏樹, 長澤匡章, 田中遼治, 島村玲奈, 楠見知大, 日戸誠也, 武田友祐, 服部正典, 福田泰斗, 平井椰人, 平岩拓巳, 平山智樹, 平川祐也, 片田雄貴, 野田英輔, 野田龍志, 矢野裕貴, 六車早紀, 廣澤啓也, 簀谷優斗

**優秀成績賞 (A):**EckersallAlexander, エンテイキ, 伊勢雄大, 井上大空, 影山弘鷹, 永井研, 荻山温夫, 河合泰典, 角賢二, 関根雄太, 岩見真人, 久世大地, 宮川歩, 宮川雄気, 宮本涼太, 近藤駿介, 金丸幸平, 桑原恭兵, 原有希絵, 五十嵐達郎, 五十嵐暖, 高原雄史, 高野真理子, 佐々木湧斗, 佐藤雅俊, 祭聖矢, 坂口和弥, 坂上護, 三澤史孝, 山口翔輝, 山田浩嵩, 志野木時, 寺田瑞, 寺嶋義和, 若林直矢, 小田千佳子, 松橋志拓, 松本秀彦, 照喜名悠司, 上西優斗, 上田拓実, 上野裕之, 新

家玄大, 深海璃彦, 神山尚希, 水谷一幸, 星佳佑, 生津慎, 盛井順風, 西川倫功, 赤坂充雄, 前田健太郎, 前田唯衣, 前田礼男, 曾根大輔, 足立達司, 足立和明, 村松俊, 大山唯衣, 大塚智樹, 大平凜, 池田有貴, 竹中沙英, 中原陽基, 猪岡順, 通山鎧蒼, 田中学, 田中佑樹, 土屋佳未, 島本瑞希, 島本啄実, 湯山敦司, 備本浩一, 尾ヶ井港久, 尾添光太郎, 美登大成, 武田将太郎, 兵頭雅士, 平田哲爾, 堀田昌彦, 本望哲也, 麻植衛, 木村貴光, 野田岳人, 野田有杜, 柳下雅則, 葉山ひなた, 呂健, 六角洋昭, 廣瀨貴樹, 高木俊輔

### 4級

**最優秀成績賞 (S):**EckersallAlexander, 駒井雄一, 戸塚洋典, 高橋清人, 高見栄世, 三浦明日香, 三宅遙, 三繩隆, 山崎正太郎, 枝廣俊幸, 寺澤知海, 酒井崇行, 水島諒介, 星紀宏, 前島一輝, 大塚敦, 長友宏樹, 田中美有, 渡辺萌, 土肥伸太郎, 梅本陽南乃, 尾添光太郎, 北村和也, 鈴木悠道

**優秀成績賞 (A):**安井寛貴, 井内昌幸, 影山卓己, 遠藤慎也, 黄立中, 岡田唯月, 梶原洸哉, 関口絢子, 館林琴梨, 岩見真人, 吉田湊, 金生舞子, 金川卓史, 金澤士郎, 桑原春香, 古川眞, 江淳熙, 荒川智, 黒岩祐志, 佐々木俊嗣, 左京加奈子, 榊原茉奈, 作江大樹, 三浦昂, 山室圭介, 山上直美, 山田侑里, 酒井憲司, 緒方秀哉, 小森茜, 小池久司, 庄司紗和子, 松橋倫久, 松川裕介, 松尾大綺, 上田航平, 上野蒼太, 新井直哉, 秦野拓海, 水取未流, 杉尾一成, 菅家光生, 生天目桃華, 西川清花, 浅井優美, 前田唯衣, 増子智也, 村上明日香, 太田直毅, 中林久幸, 田倉直樹, 渡邊玄徳, 東村明日香, 藤原湧輝, 徳渕莉来, 日置雅明, 畑宥佑, 飯田瑞稀, 表内沙樹, 米川なつみ, 保谷典孝, 望月悠史, 目黒孝泰, 櫻井宙, 澁谷陽

### 統計調査士

**優秀成績賞 (A):**五十嵐春香

### 専門統計調査士

**最優秀成績賞 (S):**伊藤正貴, 栗山博雅, 前原

庸司, 長谷川慶, 平井康太

**優秀成績賞 (A)**: 伊藤龍之介, 宇部真広, 荒木充公, 清水聡太, 川崎真規, 中村滋行, 田中裕史, 妹尾力

#### データサイエンス基礎

**最優秀成績賞 (S)**: 伊東邦昭, 岡卓哉, 鬼頭慶多, 荒井裕樹, 香川英介, 黒島大樹, 三好航平, 山口沖枝, 児玉健, 寺嶋拓弥, 宗像真之, 勝又遥香, 植村直紀, 新井智大, 多田昌史, 打田圭吾, 大野岳, 池長大賀, 平井賢, 北島大, 木村敦, 鈴木貴大, 國近優希

**優秀成績賞 (A)**: YOOSEUNGMIN, 井口雅哉, 丸山直樹, 岩谷沢男, 吉田一志, 五島剛, 黒田博史, 山下俊, 上垣外紀隆, 森島康之, 清原寛之,

石田開, 相澤卓実, 草野あずさ, 池内亮太, 中岡秀彰, 朝子あかり, 長澤亮太, 田辺直之, 白神史人, 水見栄成, 福田希海, 平尾保子, 野田佐武郎, 梁瀬真弘, 齋藤弘美

#### データサイエンス発展

**最優秀成績賞 (S)**: 穴田峻一郎, 柴崎光亮, 中村友彦, 中澤芳揮, 田口雄一

**優秀成績賞 (A)**: 稲垣湧介, 坂井健太郎, 初田元希, 正源勇朔, 西村友貴, 大崎悟, 府川直裕, 平野真理, 脇本拓海

#### データサイエンスエキスパート

**優秀成績賞 (A)**: 荒野俊平

## 4. 理事会・委員会報告 (2025年10月18日開催)

### 一般社団法人 日本統計学会 理事会

**日時**: 2025年10月18日 (土曜日) 午後1時05分~午後1時25分

**場所**: 筑波大学 自然系学系棟 D802

オンライン理事会として実施

Zoom (ミーティング ID: 890 9762 4892)

理事の総数 14名 出席理事の数 13名

監事の総数 3名 出席監事の数 2名

#### 出席者:

**理事**: 狩野裕会長, 青嶋誠理事長, 坂田綾香 (庶務), 明石郁哉 (庶務), 白石博 (会計), 丸山祐造 (JJS), 荒木由布子 (会誌編集和文), 朝日弓未 (広報), 寺田吉壺 (大会/企画・行事), 江村剛志 (国際), 清智也 (国際), 長尾大道 (渉外), 竹内光悦 (教育)

(以上13名, 括弧内は役割分担)

**監事**: 照井伸彦, 川崎能典

#### 第1議案 常設委員会における委員の交代について

青嶋理事長より, 資料に基づき, 常設委員会の委員の交代が提案され, 審議の結果, 承認を得た.

### JJSD 支援委員会

増田弘毅委員長より丸山祐造委員長に交代 (2025年10月18日付).

### 大会委員会

矢野恵祐委員より佃康司委員にプログラム委員を交代 (2025年10月18日付). 藤井孝之委員, 松本智恵子委員より松田孟留委員, 林賢一委員に運営委員を交代 (2025年10月18日付).

#### 第2議案 臨時委員会における委員の再任について

青嶋理事長より, 資料に基づき, 臨時委員会の委員の再任が提案され, 審議の結果, 承認を得た.

##### • JJS-Springer 編集委員

大森裕浩委員長, 荒木由布子委員, 内田雅之委員, 奥井亮委員, 柿沢佳秀委員, 小池祐太委員, 小林弦矢委員, 駒本文保委員, 下津克己委員, 原尚幸委員, 山田宏委員が再任 (2026年1月1日付)

##### • MOOC 委員会

佐藤整尚委員長, 酒折文武委員, 下川敏雄委員, 竹村彰通委員, 中山厚穂委員, 松田安昌委員, 渡辺美智子委員が再任 (2026年1月1日付)

- 産学連携推進委員会

椿広計委員長，大野忠士委員，鎌倉稔成委員，鈴木督久委員，中野純司委員，西井龍映委員，舟岡史雄委員，安川武彦委員が再任（2026年1月1日付）

### 第3議案 2026年度学会賞各賞の選考委員について

狩野会長より，中村隆英賞の選考委員として，會田雅人会員（再任），舟岡史雄会員（再任），川崎茂会員（新規）を任命することが提案され，審議の結果，承認された。

### 第4議案 学会賞各賞の候補者推薦について

青嶋理事長より，資料に基づき，学会賞各賞の候補者推薦募集の日程について提案がなされ，審議の結果，承認が得られた。推薦受付期間は2025年12月8日（月）から2026年3月23日（月）までとした。

### 第5議案 社員懇談会招集の件

狩野会長より，社員懇談会を以下のとおり招集する旨が述べられた。その可否を理事に諮り，承認が得られた。

1. 日時 2026年3月6日（金）午後6時00分から
2. 場所 オンライン開催（Zoom）
3. 会議の目的事項

- (1) 社員懇談会における通常の審議

### 第6議案 会員の入退会

青嶋理事長より，回収資料に基づき，入退会希望者を紹介し，審議の結果，承認を得た。

### 一般社団法人日本統計学会委員会

日時：2025年10月18日（土曜日）午後1時25分～午後3時37分

場所：筑波大学 自然系学系棟 D802

オンライン理事会として実施

Zoom（ミーティング ID: 890 9762 4892）

出席：理事13名，監事2名，委員0名，計15名

狩野裕会長，青嶋誠理事長，坂田綾香，明石郁哉，白石博，丸山祐造，荒木由布子，朝日弓未，寺田吉壺，江村剛志，清智也，長尾大道，竹内光悦，照井伸彦（監

事），川崎能典（監事）

### <報告事項>

#### 1. JJSD 支援委員会

丸山委員長より，JJSD 新編集長のもとでの JJSD 支援委員会新体制と，JJSD の編集状況について報告がなされた。

#### 2. 和文誌編集委員会

荒木委員長より，和文誌の編集状況について報告がなされた。

#### 3. 大会委員会

寺田委員長より，2026年度統計関連学会連合大会の会場について報告がなされた。

#### 4. 企画・行事委員会

寺田委員長より，第20回統計学会春季集会の準備状況について報告がなされた。

#### 5. 庶務委員会

白石委員より，日本統計学会の基金の整理について報告がなされた。また坂田委員長より下記の項目について報告がなされた。

- 『統計科学百科事典』分冊版出版計画について
- 春季集会準備会議の日程について
- 「第12回科学技術教育フォーラム」共催依頼について（主催：一般社団法人日本品質管理学会）
- 「人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん2025）」後援依頼について（主催：一般社団法人情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会）
- 統計グラフ全国コンクール「日本統計学会会長賞」表彰式について
- 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業について
- 丸善雄松堂からの収録許可願いについて
- サーバーおよびウェブ名簿の状況について

#### 6. 広報委員会

朝日委員長より，会報205号について，報告がなされた。

#### 7. 国際関係委員会

江村委員長より，EcoSta2025のJSS Keynoteセッションについて，統計関連連合大会のプレナリーセッション・国際合同セッションについて，春季大会の英語セッションについて，報告がなされた。また清委員より，IMS-

APRM2026の準備状況について報告がなされた。

#### 8. 渉外委員会

長尾委員長より、科学研究費助成事業に関連して、JJSDの特集論文とオープンアクセス費用について、説明がなされた。

#### 9. 質保証委員会

瀬尾委員長が欠席のため、代理で青嶋理事長より、9月30日（火）に開催された第76回事業委員会の報告がなされた。

#### 10. 統計教育委員会

竹内委員長より、第72回統計全国グラフコンクール審査会の報告、第8回統計データコンペティション2025の報告、ISLP 国際統計ポスターコンペティション2024-2025日本予選会、中高生・スポーツデータ解析コンペティション -2025- の開催についての報告がなされた。

#### 11. ISI 東京大会委員会

樋口委員長の代理で、青嶋理事長より次回 ISI WSC についての報告がなされた。

#### 12. その他

青嶋理事長より、男女共同参画学協会連絡会の正会員になることについて、報告がなされた。

#### 1. JJSD 支援委員会

#### 2. 和文誌編集委員会

#### 3. 大会委員会

#### 4. 企画・行事委員会

#### 5. 庶務委員会

#### 6. 広報委員会

#### 7. 国際関係委員会

江村委員長より、EcoSta2026における JSS keynote talk について提案がなされ、審議の結果、承認された。

#### 8. 渉外委員会

#### 9. 質保証委員会

#### 10. 統計教育委員会

#### 11. ISI 東京大会委員会

#### 12. その他

#### 今後の予定

2025年11月22日（土）13:00 春季集会準備会議（オンライン）

2026年2月8日（日）13:00 理事会（オンライン）

2026年3月6日（金）18:00 社員懇談会（オンライン）

2026年3月7日（土）日本統計学会春季集会（ハイブリッド）

2026年5月9日（土）13:00 理事会（オンライン）

#### <審議事項>

## 5. 新刊紹介

会員からの投稿による新刊図書の紹介記事を掲載します。

- 著者名：小暮 厚之，吉田 靖
- 書名：ExcelとRで学ぶビジネスデータサイエンス入門
- 出版社：講談社
- 税込価格：2,640円
- 出版年月：2025年10月
- 紹介文：サポートサイトでは米国株式等の実データとRのスク립トを提供。文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラムのリテラシーレベルと応用基礎の学修項目に

も一部対応。

- 著者名：石井 太
- 書名：人口学の基礎
- 出版社：慶應義塾大学出版会
- 税込価格：4950円
- 出版年月：2025年10月
- 内容紹介：人口統計を用いて分析を行う人口学の方法論を中心として解説。詳細は以下の URL をご覧ください。

<https://www.keio-up.co.jp/np/isbn/9784766430721/>

## 6. 会員活動紹介

### 江村剛志会員がEcoSta2025においてJSS Keynoteセッションにて基調講演を実施

国際会議 EcoSta2025において、日本統計学会がスポンサーとなりオーガナイズした JSS Keynote セッション（基調講演）が実施されました。会場の早稲田大学において8月22日15時から50分間で、青嶋誠先生（筑波大）による「High-dimension, low-sample-size analysis: Automatic sparse estimation

and geometric insights in non-sparse spiked models」というタイトルで基調講演が行われました。JSS Keynote セッションは、国際委員の江村剛志（広島大）氏が企画立案し、講演の座長を務めました。EcoSta2025は国内外から1150人が参加し、本Keynote 講演も多数の参加者が参列し、大変盛況に終わりました。

## 7. 学会事務局から

### 学会費払込のお願い

2025年度会費の請求書が会員のお手元に届いていることと思います。会費の納入率が下がると学会会計に大きく影響いたします。速やかな納入にご協力をお願い申し上げます。便利な会費自動払込制度もご用意しています。次の要領を参照の上、こちらもご活用下さい。また、クレジットカードでの学会費払込も受け付けております。お申込みは学会ホームページよりお願いいたします。（<https://www.jss.gr.jp/fee/>）。

E-mail : [shom@jss.gr.jp](mailto:shom@jss.gr.jp)

### 入会承認

栗原寛、杉本龍勇、玉野史結、三島晃陽、山田将人、Zhang Peipei（敬称略）

### 退会承認

井上雅章、佐々木雅広、西山茂、原恭彦、廣嶋清志、松井知子、三宅和公、村山一明、山下幸彦（敬称略）

### 学会費自動払込の問合せ先

学会費自動払込問合せの旨とともに、氏名と住所を以下にお伝えください。手続きに必要な書類が送付されます。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6  
能楽書林ビル5F

公益財団法人統計情報研究開発センター内  
日本統計学会担当

Tel & Fax : 03-3234-7738

### 現在の会員数（2025年12月2日）

名誉会員	12名
正会員	1,346名
準会員	5名
学生会員	67名
総計	1,430名
賛助会員	18法人
団体会員	7団体

## 8. 投稿のお願い

統計学の発展に資するもの、会員に有益であると考えられるものなどについて原稿をお送りください。以下のような情報も歓迎いたします。

- 来日統計学者の紹介  
訪問者の略歴、滞在期間、滞在先、世話人などをお知らせください。

- 博士論文・修士論文の紹介  
(1) 氏名 (2) 学位の名称 (3) 取得大学 (4) 論文題名 (5) 主査または指導教員 (6) 取得年月をお知らせください。

- 求人案内（教員公募など）

- 研究集会案内

- 新刊紹介

著者名、書名、出版社、税込価格、出版年月をお知らせください。紹介文を付ける場合は100字程度までとし、主観的な表現は避けてください。

- 会員活動紹介（叙勲・受章、各種受賞等）  
できるだけ e-mail による投稿、もしくは、文書ファイル（テキスト形式）の送付をお願い致します。

### 原稿送付先：

〒102-0071

東京都千代田区富士見1丁目11番2号

東京理科大学経営学部経営学科内

朝日 弓未 宛

E-mail: [koho@jss.gr.jp](mailto:koho@jss.gr.jp)

(統計学会広報連絡用 e-mail アドレス)

- 統計学会ホームページ URL：  
<https://www.jss.gr.jp/>
- 統計関連学会ホームページ URL：  
<http://www.jfssa.jp/>
- 統計検定ホームページ URL：  
<https://www.toukei-kentei.jp/>
- 住所変更連絡用 e-mail アドレス：  
[meibo@jss.gr.jp](mailto:meibo@jss.gr.jp)
- 広報連絡用 e-mail アドレス：  
[koho@jss.gr.jp](mailto:koho@jss.gr.jp)
- その他連絡用 e-mail アドレス：  
[shom@jss.gr.jp](mailto:shom@jss.gr.jp)